

令和5年度 荻川地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和5年6月15日(木)13:30～15:00

会場：荻川コミュニティセンター

【出席者】 荻川コミ協： 窪田会長、加納副会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、田中武則副会長、中村副会長、
(敬称略) 本間会計(支え合いのしくみづくり会議構成員、車場寿会会長)、鈴木事務局長

荻川地区協議会：五十嵐会長(中野3丁目会長)、田中雄二副会長(あおば通会長)、田村事務局長(中野5丁目会長)

町内会長：伊藤会長(荻島連合町内会・荻島1丁目)、木村会長(車場連合町内会・車場3丁目)

荻川地区民協：中野会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、横山副会長

区老連荻川協議会：久保田会長(荻島荻友会会長)

荻川地区社協：関代表(コミ協副会長)、星副代表、石井スタッフ、五十嵐スタッフ、曾我スタッフ /計19名

秋葉区社会福祉協議会：横山(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
見 守 り	<p>○おぎかわあったかネットの充実・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続することが大きな力となる。不安や孤立感の解消などの様々な効果がある。 ・町内の人が声をかけることで安心感がある。(喜ばれている) ・日頃から、気にかけて合うことが防災にもつながり、大切である。 ・外部見守りで無事の確認をし、偶数月の届け物で本人と会っている。 ・自治会・町内会と民生委員と協力員との連携がとれている。 ・月2回以上の活動をしており、町内会長が協力員の報告書にコメントを添えて返している。(荻島1) 	<p>○おぎかわあったかネットの推進</p> <p>(自治会・町内会、民生委員、協力員等の連携)</p>	コミ協(地区社協)

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・コメントは協力員の立場からはやりがいを感じ、嬉しい。 ・地域の情報がわかるようになった。 ・公園のまわりを散歩する利用者があるので、見かけた時には声かけをしている。 ・本人と話がしたいが、家族の考え方により会えない人もある。（家族は、本人がまだ元気だと言い関われない） ・訪問だけでなく、犬の散歩等での何気ない見守りも大切である。 ・協力員の研修や交流会の意義は大きい。 ・個人情報に関係から、常識をもった活動が望ましい。 ・毎月の打合せ会がパターン化している。（車場） <ul style="list-style-type: none"> ・車の運転が心配な方がいる。 ・認知症への対応はこれからますます難しくなっていく問題である。 （どう対応するのか、どこまで責任を持つのが課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ○協力員研修及び交流会の開催 ○打合せ会の工夫（車場） ○認知症等の課題の検討 ○関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協(地区社協) 車場町内会 コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員等 関係機関と連携
緊急情報キット	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キット配布 ・コミ協(地区社協)にてデータ管理し、全自治会・町内会長へ配布依頼。 ・緊急情報キット配布を通じた見守りを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットの配布及び情報内容の更新を継続 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員（連携）

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
居場所	<p>○荻川やすらぎの間への移動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と要介護状態になり、少しずつ参加者が減っている。 ・荻川やすらぎの間への送迎があれば参加したいという声がある。 <p>○高齢者の居場所が見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会館での「お茶の会」が見守りの場となっている。（あおば通） ・コミセン事務室隣の茶の間が使われていない。 	<p>○荻川やすらぎの間と藤の木原福祉会が連携した移動支援の検討を進める。</p> <p>○居場所での見守りの継続</p>	<p>コミ協(地区社協) 藤の木原福祉会</p> <p>あおば通町内会</p>
近所付き合い	<p>○隣近所の声かけ、助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中での近所付き合いでの関係づくりが大切。 →除雪等困った時に声をかければ助け合える関係づくりが大切。 ・組織に入らないとできないという考えの人もある。 	<p>○隣近所の助け合い啓発</p>	<p>自治会・町内会</p>
子どもの居場所	<p>○荻川子ども食堂（居場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若いお父さんやお母さんの参加も見えてきて、仲間づくりの場となると良い。 ・川口ほうかご広場と連携で参加者が増えた。（30食準備） ・中学生ボランティアを募集し、7月より参加予定。 	<p>○子ども食堂と子どもの居場所の連携を継続</p>	<p>コミ協 川口ほうかご広場</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
子どもの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが不足している。口コミによる募集でボランティアが増えたが、月1回の定期開催はできない。（調理以外で見守りボラも可） ・川口の見守りボランティアについて、老人会と連携できると良い。 ・メニューを増やしたい。 ・食材の寄付があると良い。（米など） ・まわりの飲食店への配慮も考えると良い。 <p>○子どもの居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園等も子どもや親、町内会の交流の場であり、見守りの1つとして考えている。子どもたちを巻き込み、清掃活動もしている。（あおば通） 	<ul style="list-style-type: none"> ○周知・PR方法の工夫(コンビニ、ごみステーション掲示) ○「広報おぎかわ」に掲載（ボランティア、米など食材寄付・寄付金募集） ○子どもや親を巻き込んだ取り組みの継続 ○公園の活用 	<p>コミ協</p> <p>コミ協</p> <p>あおば通町内会</p>
防災	<p>○防災への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りが地域の防災につながる。 ・避難行動要支援者の避難についてどうするか。 ・自力で歩いての避難が難しい人が多い。 ・自分や家族が優先になるため、災害時に要支援者を連れて行くことは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「我が家の避難所」の継続（防災の意識啓発） ○避難行動の課題検討 	<p>コミ協(地区社協)</p> <p>自治会・町内会</p> <p>民生委員</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動が活発であり、特に課題はない。（結・福島） ・組織が多いので、まとめることも必要ではないか。 ・民生委員が頑張っている。 	○老人クラブ活動の継続	老人クラブ